

全ての医療機関で 診療できます

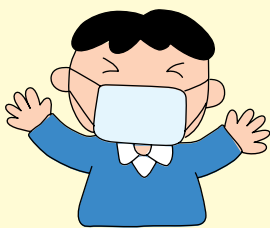
国内では、秋冬にかけて新型インフルエンザ患者数が急増することが予想されています。大規模な増加を抑制・緩和し社会機能と医療体制の継続を目指すため、7月24日から、国の新型インフルエンザへの対応が変更されました。

7月24日から
インフルエンザ様症状*1のあるかた
↓
原則、全ての医療機関へ電話相談・奥越健康福祉センターでも引き続き相談を受けています
受付時間▶午前8時30分～午後5時30分(平日)
時間外は緊急携帯電話対応
↓
原則、全ての医療機関への紹介
↓
原則、全ての医療機関での診察
(注) 専門外来など一部の医療機関では受診できない場合がありますので、あらかじめ電話で連絡してください

- ※1 インフルエンザ様症状
①突然の症状
②高熱(38度以上)
③せき、のどの痛み
④全身の倦怠感などの全身症状
⑤頭痛・筋肉痛・関節痛・下痢

これまで
インフルエンザ様症状*1のあるかた
↓
発熱相談センター(奥越健康福祉センター)へ電話相談
受付時間▶午前8時30分～午後9時(土日祝含む)

↓
発熱外来への紹介
↓
発熱外来での診察



医療機関などでの診察

受診の際には、あらかじめ、医療機関・診療所に電話連絡してから、医師の指示のもと、受診してください(マスクの着用、受付場所の提示など)。

また、処方箋による治療薬を受け取る際にも、事前に薬局に連絡してください。

感染者のかたの療養

新型インフルエンザに感染したかたは、原則として自宅療養となります。ただし、基礎疾患等*2を有するかたや、幼児・高齢者のかたが感染した場合は、あらかじめ医師に相談してください。

※2 基礎疾患等 慢性肺疾患(喘息、慢性閉塞性肺疾患等)、免疫不全状態(細細胞性免疫不全等)、慢性心疾患(先天性心疾患、冠動脈疾患等)、糖尿病、肥満、妊娠

集団感染の防止

学校・保育施設や社会福祉施設、職場でインフルエンザの症状のあるかたが複数いる場合は、奥越健康福祉センターに相談してください。

健康長寿課 (☎87・0088)
奥越健康福祉センター (☎66・2076)

1000万円寄付に対し感謝状

勝山市に対し、1000万円の寄付をされた江守茂人さん(69) 横浜市在住に、7月13日に山岸市長から感謝状が贈呈されました。

江守さんは勝山市のご出身で、貿易会社社長をされていますが、今回ご勇退されるにあたり、「弁天桜の充実のために使ってほしい。」と勝山市に寄付をされました。



感謝状を受け取られる江守さん

ゆめおれ勝山へ絵画の寄贈

勝山市出身の画家で日展会友である加藤直子さん(77) 東京都東久留米市在住に越前大日山を描いた絵画を勝山市へ寄贈されました。

「勝山市のメインの建物である、ゆめおれ勝山にぜひ飾ってほしい。」との希望で、早速ゆめおれ勝山のホールに展示されました。



絵画の前に記念撮影

災害対策本部として安全安心を確保

市役所庁舎耐震補強改修工事の完了

災害時に勝山市災害対策本部を設置する市役所庁舎本館・別館の耐震補強工事が完了しました。

工事費は2億4500万円です。

経過

平成9年に実施した市役所庁舎の耐震診断の結果、本館については、D判定(大規模地震時には耐震性はかなり劣り、柱・壁などに相当な被害が生じ、床落下などの危険性もある)と診断さ

れ、また、別館については、C判定(大規模地震時には耐震性は劣り、柱・壁などに相当な被害が生じることが予想される)と診断されました。その後、福井豪雨や新潟中越地震など、国内各地での災害発生を受け、平成19年に「勝山市防災関係システム整備年度計画」を策定しました。その中で、災害時に勝山市災害対策本部を設置する市役所庁舎本館・別館の耐震補強工事を平成20、21年度の継続事業として実施してきました。

特徴

工事の施工については、市役所の通常業務を行いながら補強工事を行う「居ながら補強」を採用し、騒音・振動の発生する作業は原則的に閉庁時(土、日、祝日)に行いました。構造的な特徴として、本館外付けブレースとして採用した丸パイプ方式は、強度と美しさ、施工性の良さに優れており、日本国内では、静岡県庁の正面にも採用されています。本館中央ロビーの吹き抜けホール廻りの補強には、採光と通気性の両方の利点を生かした繊維強化プラスチック(FRP)ブロック壁

市役所庁舎の概要

市役所庁舎本館は、昭和33年竣工、鉄筋コンクリート造、地上3階建て地下1階、延床面積2,091.66㎡。元消防署だった別館は、昭和37年竣工、鉄筋コンクリート造、地上3階建て、延床面積952.69㎡。

を採用しました。設計段階では全国初の採用でしたが、岩手・宮城内陸地震の復旧工事により施工された東北大学図書館に次いで2番目となりました。

今回の市役所庁舎耐震補強工事の完了により、地震災害時の被害を最小限に留め、市民の安全安心の防災拠点として十分な機能を高めることができました。



吹き抜けホールの繊維強化プラスチックブロック壁



見た目にも美しい丸パイプ方式の筋交い



防災行政無線の整備に伴い設置される無線室

また、耐震工事に合わせて、防災行政無線(同報系)整備工事の一環として、庁舎本館2階に無線室を整備中で、今月末の衆議院議員総選挙広報から活用を予定しています。さらに、今回の庁舎耐震工事施工に合わせ、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出する重油による暖房用ボイラーを廃止し、省エネタイプの冷暖房設備の新規更新を行いました(工事費別)。その結果、年間3万8230kgの二酸化炭素削減(杉の木2700本が削減する二酸化炭素量に相当)を見込んでいます。

総務課 ☎88・1116